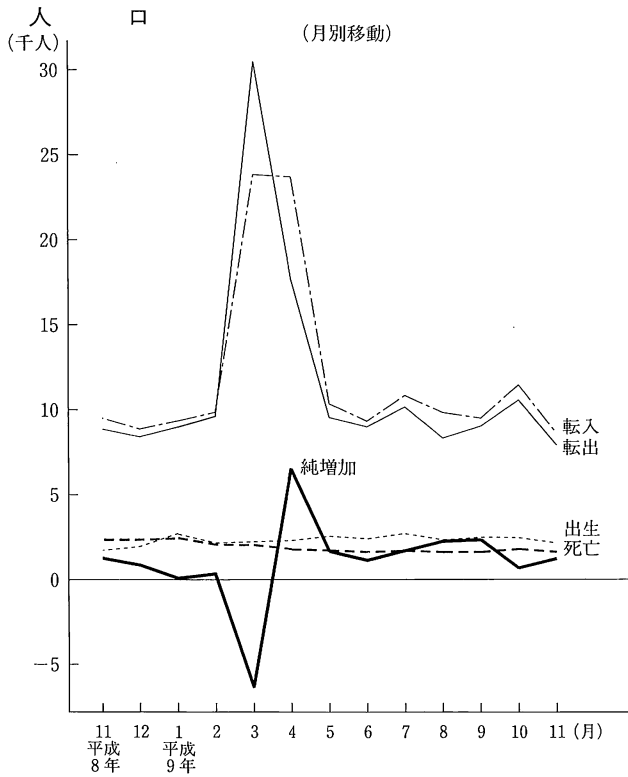
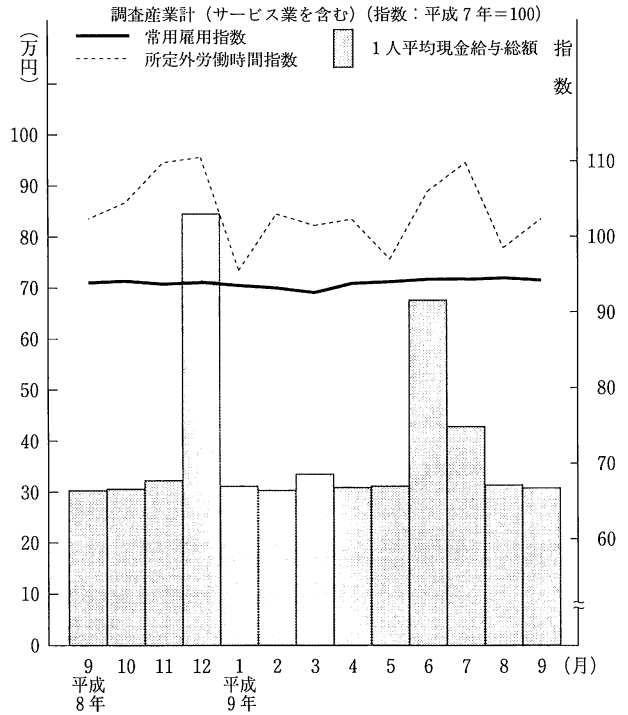


今月の主な動き



賃金・労働時間・雇用



■人口 (9年12月1日)

11月の概況

本県の人口は、11月中に1,206人増加し、12月1日現在で2,984,323人(男1,490,370人、女1,493,953人)となった。

内訳は、自然動態で529人(出生2,140人、死亡1,611人)増加し、社会動態で677人(転入8,585人、転出7,908人)増加した。前年同月と比べると12,486人(0.4%)の増加である。

市町村別では、増加が16市32町村、減少が4市31町村、増減なしが1町1村である。

世帯数についても11月中に1,070世帯増加し957,894世帯となった。

■賃金・労働時間・雇用 (9年9月)

1. 平均時間の推移

9月の現金給与総額は、調査産業計で307,370円、対前年同月比1.5%増、このうち、きまって支給する給与は305,218円、対前年同月比1.7%増であった。また、このうち、所定内給与は277,975円、対前年同月比6.8%増であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比0.3%減であった。

2. 労働時間

9月の総実労働時間は、調査産業計で159.7時間、対前年同月比0.5%減であった。このうち、所定内労働時間は146.1時間、対前年同月比0.5%減、所定外労働時間は13.6時間、対前年同月比もちあいであった。

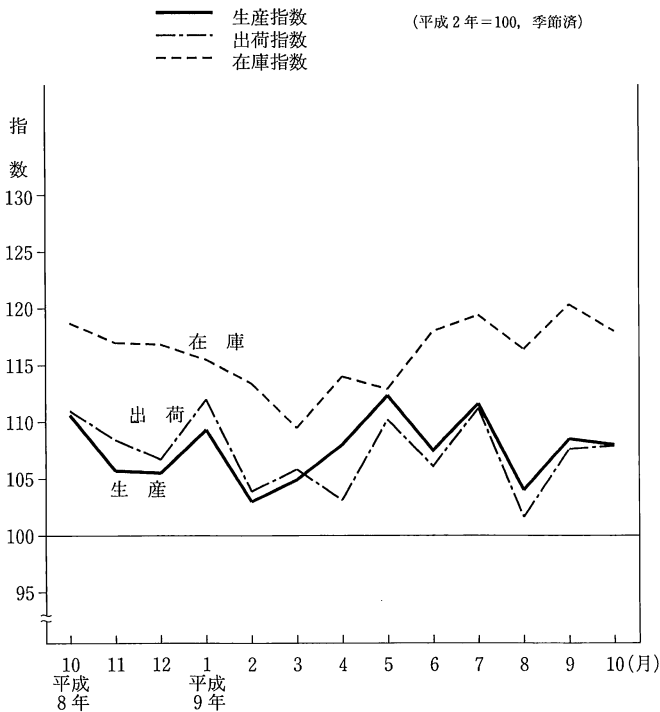
3. 雇用の動き

9月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.3%増であった。

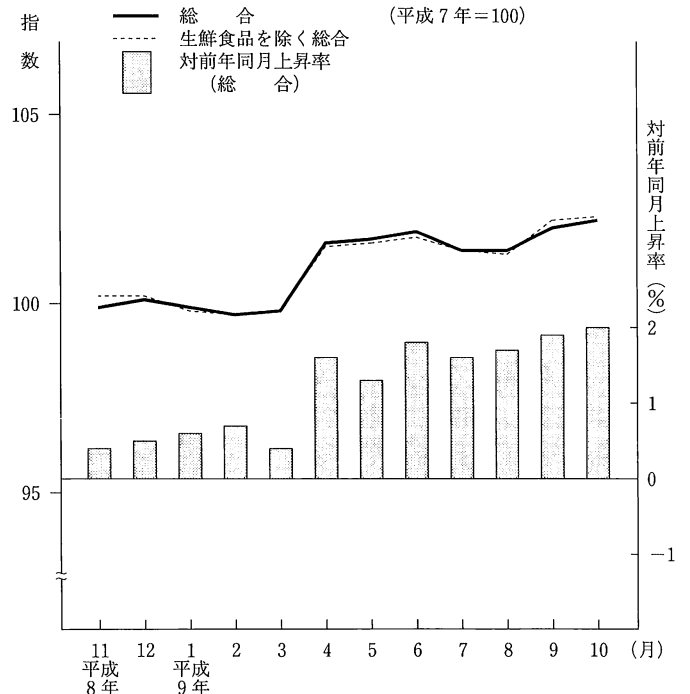
※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。

なお、事業所規模5人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

■ 鉱工業指数（生産・出荷・在庫）



■ 消費者物価指数



■ 鉱工業指数＜生産・出荷・在庫＞（9年10月）

本県における平成9年10月の「鉱工業指数」(平成2年=100)は、季節調整済指数で、生産が108.0、出荷が107.9、在庫が118.0で、前月比は、生産が0.5%の低下、出荷が0.3%の上昇、在庫が1.9%の低下であった。前年同月比(原指数)は、生産が2.3%の低下、出荷が2.7%の低下、在庫が0.6%の低下であった。

業種別に前月比をみると、生産では、鉱業、精密機械工業、石油・石炭製品工業等が上昇し、その他工業、一般機械工業、金属工業等が低下した。出荷では、精密機械工業、非鉄金属工業、プラスチック製品工業等が上昇し、石油・石炭製品工業、電気機械工業、その他工業等が低下した。在庫では、輸送機械工業、精密機械工業、食料品・たばこ工業等が上昇し、非鉄金属工業、石油・石炭製品工業、繊維工業等が低下した。財別にみると、生産では、その他用生産財、耐久消費財等が上昇し、資本財、建設財が低下した。出荷では、その他用生産財、耐久消費財等が上昇し、資本財が低下した。在庫では、その他用生産財、耐久消費財等が上昇し、資本財、鉱工業用生産財が低下した。

■ 消費者物価指数（9年10月）

平成9年10月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で102.2(平成7年=100)となり、前月比0.2%の上昇、前年同月比2.0%の上昇となった。

今月の上がった主な項目…果物6.4%、野菜・海藻4.0%、家庭用耐久財1.6%

今月の下がった主な項目…乳卵類1.5%、肉類1.2%、魚介類0.8%

生鮮食品を除く総合は102.3となり、前月比0.1%の上昇、前年同月比2.2%の上昇であった。

■ 費目別指数

(平成7年=100)

区 分	指 数	上 昇 率 (%)		区 分	指 数	上 昇 率 (%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	102.2	0.2	2.0	保 健 医 療	113.3	△0.1	11.1
食 料	101.7	0.6	1.7	交 通 通 信	98.8	△0.3	0.0
住 居	102.1	△0.2	0.7	教 育	106.3	0.0	2.9
光熱・水道	105.1	0.1	5.5	教 養 娯 楽	99.5	0.7	2.3
家具・家事用品	97.6	0.4	0.3	諸 雑 費	100.5	△0.2	0.9
被服及び履物	109.2	0.9	3.8	生鮮食品を除く総合	102.3	0.1	2.2